

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年10月11日

【四半期会計期間】 第26期第1四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

【英訳名】 Village Vanguard CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 白川 篤典

【本店の所在の場所】 名古屋市名東区上社一丁目901番地

【電話番号】 052-769-1150 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 吉岡 敏夫

【最寄りの連絡場所】 名古屋市名東区上社一丁目901番地

【電話番号】 052-769-1150 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 吉岡 敏夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第25期 第1四半期 連結累計期間	第26期 第1四半期 連結累計期間	第25期
	自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日	自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日	自 平成24年6月1日 至 平成25年5月31日
売上高 (千円)	10,167,284	10,238,336	43,765,975
経常利益 (千円)	647,500	267,966	2,703,503
四半期純利益 又は当期純損失() (千円)	323,266	92,030	3,833,643
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	321,328	90,841	3,812,864
純資産額 (千円)	17,425,988	13,278,664	13,300,417
総資産額 (千円)	31,108,972	29,744,350	28,071,058
1株当たり四半期純利益金額 又は当期純損失金額() (円)	4,201.76	1,196.19	49,828.99
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)		1,194.21	
自己資本比率 (%)	56.0	44.6	47.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	520,286	2,517,057	18,190
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	424,804	330,962	1,457,941
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	96,834	1,898,062	835,477
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,701,339	2,028,387	2,975,693

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第25期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第25期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、12月に誕生した安倍政権の経済政策への期待感や円高の解消による、輸出産業を中心とした業績回復基調も見られ、今後の景気回復への期待は高まってはいるものの、足元の企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けることにより、「モノを買う」というニーズを満たすだけでなく、「モノとモノの融合、モノとコトの融合」によって「新しい発見」や「お買い物の楽しさ」をお客様に提供することを目指してまいりました。

店舗展開につきましては、インショップへの出店を中心に推進し、当第1四半期連結累計期間における当社グループでは、直営店10店舗を出店し、直営店3店舗、FC店1店舗を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店501店、FC店16店の合計517店となりました。

上記の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、10,238,336千円と前年同四半期と比べ71,051千円(0.7%)の増収となりました。営業利益は278,193千円と前年同四半期と比べ348,368千円(55.6%)の減益となりました。また、四半期純利益は、92,030千円と前年同四半期と比べ231,236千円(71.5%)の減益となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

(株)ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様にお買い物を楽しんでいただくため、今までになかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)等の商材を融合させ、独自の「提案」を展開しております。主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、キッズを中心にファミリー層をターゲットにした「QK」、本格的なアメリカンハンバーガーを提供する飲食店「ヴィレッジヴァンガードダイナー」、若い女性をターゲットとした「exciting girls store」、中高年層をターゲットにした「HOME COMING」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」を運営しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、8,603,754千円と前年同四半期と比べ345,392千円(3.9%)の減収となりました。営業利益は173,363千円と前年同四半期と比べ302,282千円(63.6%)の減益となりました。

店舗数につきましては、直営店2店舗の新規出店、直営店2店舗、FC店1店舗の閉鎖を行い、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店378店、FC店14店の合計392店となりました。

また、既存店売上高前年同四半期比では、97.3%という結果になりましたが、その主な要因は、POSシステム稼働準備の店舗業務負担増が、前期末の売上トレンドの悪化につながり、その影響が当第1四半期にも軽微ながらも影響したこと、また、新たにスタートした商品物流の共同配送システムの安定稼働に時間を要し店舗オペレーションが混乱したことに起因するものと認識しております。これらの課題は既に解決に向かっておりますが、売上回復に向けた取り組みとして、当社の強みである独自性や魅力的な品揃えを充実させるために、新商材導入、定番商品の入替を活性化させ「売場の変化と進化」に注力してまいります。また、人材の教育に注力することで、お客様が毎日来店したくなるような空間の創造と提供に努めてまいります。

株式会社チチカカ

株式会社チチカカは、主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE(ハッピートレード)」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心がけております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,526,315千円と前年同四半期と比べ319,217千円(26.4%)の増収となりました。営業利益は83,353千円と前年同四半期と比べ82,270千円(49.7%)の減益となりました。

また、店舗数につきましては、直営店6店舗の新規出店、直営店1店舗の閉鎖を行い、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店111店、FC店2店の合計113店となりました。

その他

その他は、株式会社Village Vanguard Webbedにてオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売、Village Vanguard (Hong Kong) Limited及びVillage Vanguard (Taiwan) Limitedにてそれぞれ香港及び台湾での書籍・SPICE及びニューメディアの販売、TITICACA HONGKONG LIMITEDにてエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。また、8月新たに、上海に連結子会社 比利(7F/07)卡(上海)商(88)有限公司を設立し、当社グループの生産管理拠点を置くほか、上海での新規の出店を計画しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は170,046千円と前年同四半期と比べ112,350千円(194.7%)の増収となりました。営業利益は7,194千円となり前年同四半期と比べ26,702千円の増益となりました。

なお、Village Vanguard(Hong Kong)Limitedは直営店1店舗を出店し、当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は7店となっております。TITICACA HONGKONG LIMITEDは、直営店1店舗を出店し、当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は4店となっております。

(2)財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、23,286,384千円となりました。これは、現金及び預金が947,305千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が1,125,235千円増加し、商品及び製品が1,167,417千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、6,457,966千円となりました。これは建設仮勘定が89,391千円減少した一方で、建物及び構築物が131,038千円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%増加し、29,744,350千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.7%増加し、10,022,642千円となりました。これは、短期借入金が1,031,000千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.4%増加し、6,443,042千円となりました。これは、長期借入金が822,584千円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ11.5%増加し、16,465,685千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、13,278,664千円となりました。これは、利益剰余金が15,680千円減少したことなどによるものです。

(3)キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ947,306千円減少し、2,028,387千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用された資金は、2,517,057千円（前年同四半期は520,286千円の使用）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が254,916千円あったものの、売上債権の増加額が1,138,472千円、たな卸資産の増加額が1,173,120千円、法人税等の支払額が822,962千円あったためです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用された資金は、330,962千円（前年同四半期は424,804千円の使用）となりました。これは主に新店出店に伴う有形固定資産の取得による支出が262,059千円あったためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、1,898,062千円（前年同四半期は96,834千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が558,785千円あったものの、長期借入れによる収入が1,600,000千円、短期借入金の純増額が1,031,000千円あったためであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	198,000
計	198,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	76,936	76,936	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	当社は単元株制度を 採用していません。
計	76,936	76,936		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年8月31日		76,936		2,242,489		2,219,406

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)			
完全議決権株式(その他)	普通株式 76,936	76,936	
単元未満株式			
発行済株式総数	76,936		
総株主の議決権		76,936	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4株含まれております。
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数4個が含まれております。
- 2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年 8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,995,693	2,048,387
受取手形及び売掛金	1,600,234	2,725,469
商品及び製品	16,697,703	17,865,120
その他	487,045	653,966
貸倒引当金	5,255	6,559
流動資産合計	21,775,420	23,286,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,150,955	2,281,994
機械装置及び運搬具（純額）	1,132	1,001
工具、器具及び備品（純額）	952,923	1,083,617
建設仮勘定	100,071	10,680
有形固定資産合計	3,205,083	3,377,293
無形固定資産	224,706	217,978
投資その他の資産		
差入保証金	2,309,935	2,305,882
その他	606,074	606,365
貸倒引当金	50,162	49,553
投資その他の資産合計	2,865,847	2,862,694
固定資産合計	6,295,637	6,457,966
資産合計	28,071,058	29,744,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,110,369	4,300,117
短期借入金	486,000	1,517,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	2,094,491	2,313,122
未払金	766,415	807,484
未払法人税等	853,345	173,240
未払消費税等	27,765	48,738
株主優待引当金	32,904	27,144
賞与引当金	97,357	69,563
資産除去債務	21,111	4,995
その他	630,428	741,237
流動負債合計	9,140,188	10,022,642
固定負債		
社債	30,000	20,000
長期借入金	4,054,615	4,877,199
長期未払金	291,156	258,000
退職給付引当金	176,607	185,105
役員退職慰労引当金	244,488	237,193
資産除去債務	775,810	807,790
その他	57,775	57,754
固定負債合計	5,630,452	6,443,042
負債合計	14,770,640	16,465,685
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242,489	2,242,489
資本剰余金	2,219,406	2,219,406
利益剰余金	8,814,052	8,798,372
株主資本合計	13,275,948	13,260,268
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,187	9,998
その他の包括利益累計額合計	11,187	9,998
新株予約権	13,281	8,397
純資産合計	13,300,417	13,278,664
負債純資産合計	28,071,058	29,744,350

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	10,167,284	10,238,336
売上原価	5,875,999	5,890,233
売上総利益	4,291,284	4,348,103
販売費及び一般管理費	3,664,723	4,069,910
営業利益	626,561	278,193
営業外収益		
仕入割引	20,133	17,130
業務受託料	19,334	17,807
その他	9,188	12,765
営業外収益合計	48,656	47,703
営業外費用		
支払利息	22,577	23,794
為替差損	1,826	20,489
その他	3,314	13,645
営業外費用合計	27,718	57,929
経常利益	647,500	267,966
特別利益		
移転補償金	28,580	9,300
新株予約権戻入益	5,477	4,883
特別利益合計	34,058	14,183
特別損失		
減損損失	18,345	27,234
特別損失合計	18,345	27,234
税金等調整前四半期純利益	663,214	254,916
法人税等	340,675	162,885
少数株主損益調整前四半期純利益	322,538	92,030
少数株主損失()	727	-
四半期純利益	323,266	92,030

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	322,538	92,030
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,209	1,188
その他の包括利益合計	1,209	1,188
四半期包括利益	321,328	90,841
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,079	90,841
少数株主に係る四半期包括利益	750	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	663,214	254,916
減価償却費	130,755	176,079
減損損失	18,345	27,234
売上債権の増減額(は増加)	440,369	1,138,472
たな卸資産の増減額(は増加)	770,460	1,173,120
仕入債務の増減額(は減少)	794,842	199,192
その他	254,513	17,604
小計	141,813	1,671,775
利息及び配当金の受取額	564	283
利息の支払額	22,284	22,603
法人税等の支払額	640,380	822,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	520,286	2,517,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	297,565	262,059
無形固定資産の取得による支出	12,250	13,852
差入保証金の差入による支出	97,726	67,789
その他	17,261	12,738
投資活動によるキャッシュ・フロー	424,804	330,962
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	230,000	1,031,000
長期借入れによる収入	500,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	490,234	558,785
社債の償還による支出	10,000	10,000
長期未払金の増減額(は減少)	25,173	56,386
配当金の支払額	107,758	107,765
財務活動によるキャッシュ・フロー	96,834	1,898,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	594	2,650
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	848,850	947,306
現金及び現金同等物の期首残高	3,550,189	2,975,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,701,339	2,028,387

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
現金及び預金 預入期間が3ヶ月を超える定期預金	2,721,339千円 20,000 "	2,048,387千円 20,000 "
現金及び現金同等物	2,701,339千円	2,028,387千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月24日 定時株主総会	普通株式	107,710	1,400	平成24年5月31日	平成24年8月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月23日 定時株主総会	普通株式	107,710	1,400	平成25年5月31日	平成25年8月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	㈱ヴィレッジヴァンガード コーポレーション	㈱チチカカ	その他 (注)3			
売上高						
外部顧客への売上高	8,901,476	1,208,111	57,696	10,167,284		10,167,284
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,670	1,013		46,656	46,656	
計	8,949,147	1,207,098	57,696	10,213,941	46,656	10,167,284
セグメント利益又は損失()	475,646	165,624	19,508	621,762	4,799	626,561

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額4,799千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	㈱ヴィレッジヴァンガード コーポレーション	㈱チチカカ	その他 (注)3			
売上高						
外部顧客への売上高	8,562,837	1,508,588	166,910	10,238,336		10,238,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,917	17,727	3,135	61,779	61,779	
計	8,603,754	1,526,315	170,046	10,300,116	61,779	10,238,336
セグメント利益	173,363	83,353	7,194	263,911	14,282	278,193

(注)1. セグメント利益の調整額14,282千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、TITICACA HONGKONG LIMITED、比利時(注)7)カ(上海)商(注)8)有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4,201円76銭	1,196円19銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	323,266	92,030
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	323,266	92,030
普通株式の期中平均株式数(株)	76,936	76,936
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		1,194円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		92,030
普通株式増加数(株)		128
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額について、前第1四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(追加情報)

(株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更)

平成25年7月16日開催の取締役会において、平成25年12月1日付をもって、定款の一部を変更し、株式分割及び単元株制度の採用を決議いたしました。

1. 株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更の目的

平成19年11月に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式1株を100株に分割するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用するものであります。なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

平成25年11月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する普通株式1株につき100株の割合をもって分割いたします。

(2)分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	76,936株
今回の分割により増加する株式数	7,616,664株
分割後の発行済株式総数	7,693,600株
分割後の発行可能株式総数	19,800,000株

(3)分割の日程

基準日	平成25年11月30日
効力発生日	平成25年12月1日

3. 単元株制度の採用

(1)新設する単元株の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたします。

(2)新設の日程

効力発生日 平成25年12月1日

4. 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における（1株当たり情報）の各数値はそれぞれ次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額	42円02銭	11円96銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		11円94銭

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額について、前第1四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 安藤 泰行 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 奥谷 浩之 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 村井 達久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションの平成25年6月1日から平成26年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。